



# みらいこども園

4月号

令和7年4月1日  
田園調布学園大学  
みらいこども園  
園長 勝浦 芳子



## ご入園・ご進級おめでとうございます。

温かい春の日差しに誘われて、園庭の桜も満開になり、「入園おめでとう」「進級おめでとう」と笑顔で祝福してくれています。

いよいよ令和7度がスタートいたしました。本年度は42名の新入園児を迎え、総数183名の園児達がみらいこども園で、乳幼児期の生活を送ります。元気いっぱいな子ども達と一緒に過ごせることをとても嬉しく思います。引き続き、本園の理念である「みらいこども園は、子どもも大人も一人一人が尊重され生きる喜びがもてるところです」を基本として、園児が、「遊び」を通して好きなことを見つけ、主体性をもって園生活を送れるよう努めて参ります。また、友達を思いやり尊重しながら個々の資質や能力を育てていけるよう職員一丸となって環境を整えて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

世の中は、目まぐるしく変化し、便利なようで、生きづらい環境になっております。未来を担う子ども達には、力強く生き抜いて欲しい思い、本園は、遊びを通して、たくさんの体験をし、人とのつながりを大切に考え、「生きる力」「生涯にわたる人格形成の基礎」を培えられるよう、一人一人の特性を伸ばしつつ、子ども自身が主体的に学べる環境を整えて参ります。まずは、園児同士、園児と職員、保護者様と職員のコミュニケーションを執る第一歩として、今年度も、『挨拶』を大切にしていきます。挨拶は、相手の存在を認めて関係性を深めるきっかけになります。子ども達が、毎日の生活の中でたくさんの友達に出会い、人との関わりの一部として、『挨拶』を習慣として根付かせて行きたいと思います。特に、「おはよう」「ありがとう」「いただきます」「ご馳走さま」「さようなら」の言葉は、これからの人生においてとても大切な言葉だと思いますので、丁寧に伝えていきたいと思います。どうぞ、保護者の皆様も笑顔で挨拶をしていただき、子どもの良いお手本となってください。職員も保護者の方々にお声をたくさんおかけし円滑な関係性を築いてけるよう努力いたします。また、4月は新しい生活の始まりですので、子ども達は、ドキドキ感とワクワク感を交差しながら、緊張や不安でいっぱいです。一生懸命新しい環境に足を踏み出し、孤軍奮闘していますので、園から帰ってきたら、お子様をぎゅっと抱きしめ、「頑張ったね。」と声をかけてあげてください。これが、親子の絆を深く結び付け、愛着形成に繋がります。愛しい子ども達と過ごす時間を大切に、子育てをしていきましょう。みらいこども園が、子ども達の大好きな場所となり、保護者の皆様も安心して預けられる施設となるよう職員一同力を合わせて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。(勝浦)

すてん！ほし組になったばかりの子がしりもちをついてしまいました。痛かったのでしょう、驚いて泣き出してしまいました。そこへ私が動くより早くピカピカのじ組さんが駆け寄り「どうしたの？痛かった？」するとその子の表情がふっと和らぎました。自分の気持ちを分かってもらえることに安心したのでしょう。このような素敵な関わりに溢れた園生活を大切にしていきたいと思います。

柳鶴

3月末には、不安で泣いたり怒ったりしていたA君。進級して4日目に「僕そら組になってすごく楽しいよ。だって面白いこといっぱいできるんだよ」と嬉しそうに声を掛けてくれました。進級を体験して始めて安心感を得たようでした。子どもが自分で気づき、自ら行動していく姿を大切にしていきたいと改めて思いました。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

中城

風に吹かれて舞い落ちる桜の花びらを受け止めようとしているのか、〇ちゃんが両手を伸ばし、グンと背伸びをしています。目に見えることや肌で感じることに体いっぱい表現している姿に笑みが溢れます。心が動いて、思わず体が動いてしまう…そんな出来事が沢山の日々であるようにしたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

三ツ橋

